

(第六卷)

昭和十六年十二月八日以前ニ日米交渉管轄ノ  
大海令第五號 聯合ノ武力行動打倒命令

昭和十六年十一月二十一日

奉勅軍令部總長

一 聯合聯隊司令長官ニ命令

向ケ進發セシムヘシ 作戰實施ニ必要ナル部隊ヲ隨時待機海面ニ

ニ 聯合聯隊司令長官ハ作戰準備行動中米國・英國又ハ薩國軍ノ統

率ヲ受ケタル場合自衛ノ為武力ヲ行使スルコトヲ得

三 細項ニ關シテハ軍令部總長ヲシテ之ヲ指示セシム

昭和十六年十一月二十一日

軍令部 陸軍

一 聯合艦隊司令長官ハ日米交渉成立セバ作原郡陸ヲ即時集結陣遣  
 合シムヘシ  
 二 大海令第五號ニ依ル武力行使ハ米英露國海上兵力カ我領海ニ侵  
 入シ偵察行動ヲ帆リタル場合ニ我領海附近ニ近接シ其ノ行動  
 致フ能治ナラシムルト認メタル場合或ハ領海外ニ於テモ我ヲ危  
 殆ナラシムル如キ積極的行動ヲ帆リタル場合ニ限定ス

軍令第 陸 第 四 號  
昭和十六年十二月二日

日本聯合總隊司令長官（當時上京中）ニ口頭指示  
武刀發動前日米岡ノ交渉妥結確實トナクハ命令シテ聯合總隊各部  
隊ヲ集結歸還セシムヘキニ付右様ノ心得附クヘシ

